

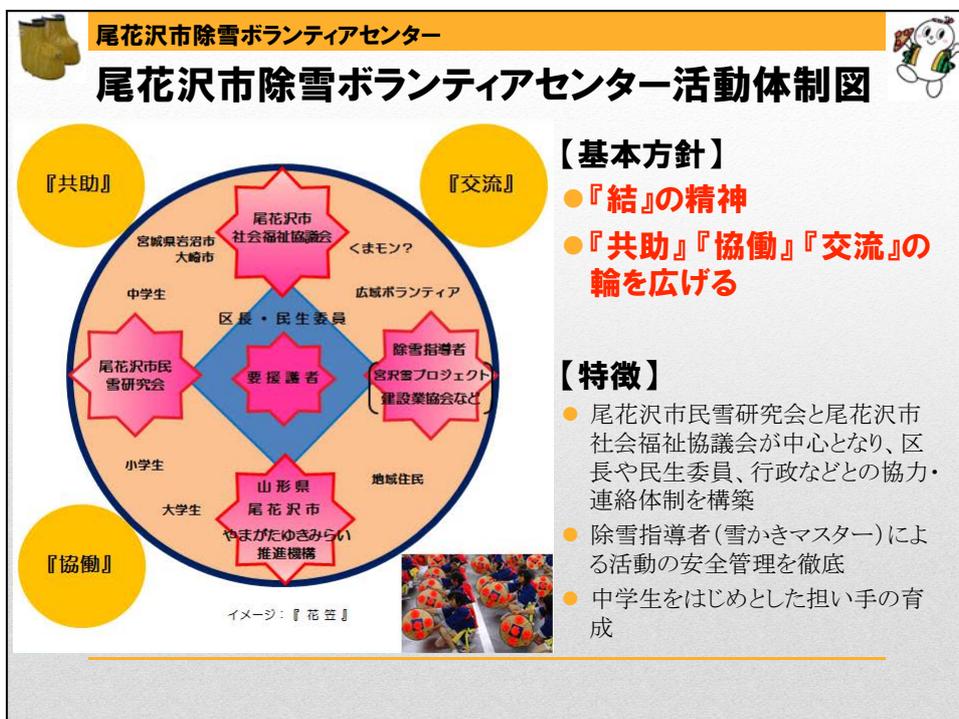
尾花沢市除雪ボランティアセンター

尾花沢市における要援護者への除雪支援体制

- ### 1、除雪券発行制度(尾花沢市)

平成12年度より実施され、1枚7000円で、1人派遣(10,000円)の時は要援護者負担は3割程度。
平成24年度は、災害救助法が適用になり6枚交付
- ### 2、福祉隣組づくり事業(社会福祉協議会)

構成員は、区長、民生委員児童委員、老人クラブで約200名
見守り、安否確認、家事援助、玄関先や軒下の除雪等
- ### 3、除雪ボランティアセンター



尾花沢市除雪ボランティアセンター

除雪ボランティア活動までの流れ

1. 運営会議の開催(計画・関係機関との調整)
(7月～12月の間3回)
2. 活動計画の作成
(1)年間活動実施回数の決定及び広報活動
(2)民生委員と連携してニーズを把握 等
3. 活動前日の現地事前調査
(1)要援護者との確認
(2)除雪箇所や投雪箇所、危険個所の確認
(3)必要な資器材の把握
4. 活動の実施
開講式→活動→閉講式→活動報告書作成
と交流
5. 運営会議(活動の反省)



尾花沢市除雪ボランティアセンター

H26. 1. 24 中学生による雪かき塾

雪かき塾とは。(担い手育成)

- ☆雪処理技術の伝授
- ☆事故防止
- ☆除雪ボランティアの拡大

- 13世帯を対象に136名がボランティア活動に参加(うち中学生97名)
- 尾花沢中学校2年生の総合学習(学年行事)として、今年で5回目の活動

【工夫した点】

- 今年は、山形大学工学部と青森県弘前学院大学の大学生も参加
- 中学生と大学生が、除雪ボランティア活動を通じた**担い手同士の意見交換と交流活動**を実施



尾花沢市除雪ボランティアセンター(おばね雪ほり隊)

H26. 1. 25 広域除雪ボランティア

- 8世帯を対象に96名がボランティア活動に参加
- 一般広域ボランティア7名のほか、本市と友好都市の宮城県岩沼市から、昨年に続き中学生を含む40名のボランティアが参加
- 青森県弘前学院大学と社会人力育成山形講座の学生10名が参加
- **昨年に続き、地元建設業者が参加し、単独で活動を行う**

【工夫した点】

- 安全な雪下ろし講習会の実施





尾花沢市除雪ボランティアセンター(おばね雪ほり隊)

H26. 1. 25~26 『社会人力育成山形講座』

【『社会人力育成山形講座』とのコラボ】

- 『社会人力育成山形講座』は、現場での作業体験を通じて「コミュニケーション力」、「行動力」、「チームワーク」、「組織における自己の確立」を目的に今年度から開始
- 昨年秋に現地調査(雪囲いの技術取得)、冬になると除雪(1泊2日で2回開催)
- 1世帯を対象に15名がボランティア活動に参加
- 山形大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学の学生が参加
- 地域住民の協力(指導者及びおもてなし交流)





尾花沢市除雪ボランティアセンター(おばね雪ほり隊)

H26. 2. 1~2 広域除雪ボランティア(銀山温泉1泊2日)




《H26. 2. 1》

- 8世帯を対象に112名がボランティア活動に参加
- 一般広域ボランティア19名のほか、宮城県岩沼市から46名のボランティアが参加
- **ボラセンの呼びかけに応じ、鶴巻田地域住民『にぐら会』7名が自主的に除雪ボランティア活動(1月30~31日)を実施**

【工夫した点】

- 初心者向けに除雪方法の講習会の開催(スコップ等の使用方法とかんじきの履き方)

《H26. 2. 2》

- 遠方から参加された一般広域ボランティア8名が銀山温泉に宿泊
- 3世帯を対象に28名のボランティアが参加





尾花沢市除雪ボランティアセンター(おばね雪ほり隊)

H26. 2. 6 宮沢小学校交流除雪ボランティア




- 『くまもとから元気プロジェクト』で来県(2月4日~7日)
- 除雪ボランティア活動に訪れたくまモンへの除雪指導(スノーダンプ『クマ武』・特殊スコップ)と雪くつ贈呈
- くまモンが除雪活動をしているところへ宮沢小学校6年生20名が除雪応援
- 活動後に、宮沢小学校で全校生徒71名と交流(くまもん体操及び花笠踊り)






尾花沢市除雪ボランティアセンター(おばね雪ほり隊)

H26. 2. 23 福原地区共助による地域除雪

★活動のねらい★

- 地域コミュニケーションにおける連帯感と防災力の向上
- 除雪作業における安全性・効率性の向上

↓

- 3世帯を対象に44名で活動
- 県内の社会人グループ初参加(3名)
- 山梨県の除雪ボランティア活動後に参加
- **昨年まで宮沢地区で実施されていた共助による地域除雪が、福原地区へと普及・拡大**




尾花沢市除雪ボランティアセンター(おばね雪ほり隊)

H26. 3. 8~9 『災害時相互協力協定』(雪国交流)除雪

『災害時相互協力協定』とは・・・

- 平成22年度に、宮城県福住町と尾花沢市鶴子地区の間で、災害時に備えて日頃から両地域の交流を図ることを目的に締結

「雪かきマイスター」養成講座の開催

- 雪国生活の一部である「雪かき技術」を地元の達人から伝授し、実際の協働除雪活動を通じた交流・親交の場として企画
- 初日に雪かきについての座学と基礎体験を行ない、2日目に老人世帯住宅等で雪かきを実践
- 3世帯を対象に、福住町民と鶴子地区地元住民の合計25名が除雪活動に参加





尾花沢市除雪ボランティアセンター

尾花沢市除雪ボランティアセンター活動の成果と今後の展望

【活動の成果】

- ボラセンの規程を作り、組織として運営しやすくなった
- 除雪指導者による連携が尾花沢のスタイルとして定着した
- **安全な雪下ろし講習会の開催(命綱及び安全带)**
- 昨年に続き、地元建設業者が自主参加
- ボラセンからの情報提供を受けて地域住民『にぐら会』が自主参加
- チームでの達成感を得られることで連続参加率が高くなった
- **地域共助活動により要援護者に対する地域住民の関心の変化があった**
- 尾花沢の地元色を活かした「おもてなし部門」の協力が拡大した。

【今後の展望】

- ボラセンの各担当部門の強化(専門知識の共有)
- 市内地域住民の除雪ボランティアへの参加(おばね雪ほり隊登録制度の新設)
- 要援護者選定基準の見直し
- **広域婚活事業(おばね雪ほり隊)**



尾花沢市除雪ボランティアセンター

ご清聴ありがとうございました





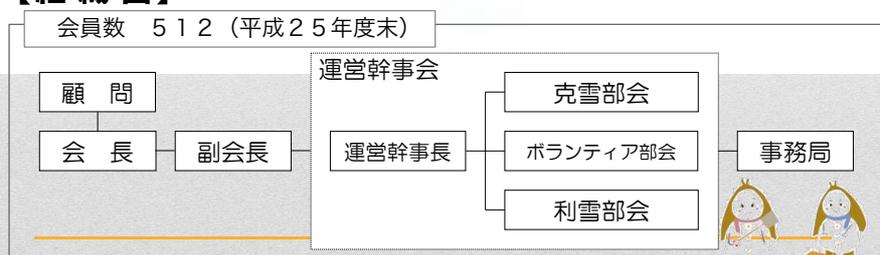
『やまがたゆきみらい推進機構』の紹介

【設立目的】

産学官民の連携ネットワークにより各分野のノウハウを連携・融合し、具体的で実用的な取組みにより降雪がもたらす県民生活への影響を軽減することを目的として、県村山総合支庁が事務局となり平成19年10月12日に設立。



【組織図】



やまがたゆきみらい推進機構ホームページ: <http://yamagatayukimirai.web.fc2.com>

【活動テーマ】

- (1) 雪に強い住宅の普及啓発及び消融雪設備の低コスト化に向けた調査研究
- (2) 除雪ボランティア活動の拡大及び担い手育成に向けた取組み
- (3) 雪氷熱エネルギーの普及啓発及び新たな導入者等への技術支援

【主な事業活動】



雪かき塾



雪かき指導者認定講習会



官民協働除排雪

- ・安全な雪下ろし作業等の普及啓発
- ・雪かきボランティア活動 ・雪サロン
- ・真夏の親子雪体験バスツアー
- ・やまがたゆきみらい大賞
- ・こどもゆきみらいコンセプト など

- ・やまがたゆきみらいシンポジウム
- ・消融雪設備技術展示会
- ・雪情報の総合案内

やまがたゆきみらい推進機構ホームページ: <http://yamagatayukimirai.web.fc2.com>

